








# 経皮内視鏡的胃瘻造設術を受けられる（前経管食用） \_\_\_\_\_ 様へ

福井赤十字病院 消化器科

	手術前日	手術当日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
目標	・手術後の経過が良好で、胃瘻から経管食が開始でき、下痢・発熱の症状がなく、順調に経管栄養の管理ができれば退院になります										
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>便を出すために浣腸又は坐薬を挿入します</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼び出しがあれば、ベッドのまま放射線棟まで行きます</li> <li>胃瘻造設後、痛みがあれば痛み止めをしますので、お申し出ください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>採血があります</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>胸部と腹部のX線写真を撮ります</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>1日1回胃瘻挿入部のスキンケアをします</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>採血があります</li> </ul> 			<ul style="list-style-type: none"> <li>採血があります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>抜糸します</li> </ul>	退院日	
治療		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝から点滴をします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抗生剤の点滴が朝夕にあります</li> <li>栄養の点滴があります</li> </ul>	→			<ul style="list-style-type: none"> <li>状態をみて、抗生剤を続けることもあります</li> </ul>	→			<ul style="list-style-type: none"> <li>下痢や発熱の時は点滴をします</li> <li>場合によっては流動食が中止になる場合があります</li> </ul>
安静		<ul style="list-style-type: none"> <li>ベッド上安静です</li> <li>身体の向きを変えることはできません</li> </ul>	・ベッドで上半身を起こすことができます							・制限はありません	
栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>24時以降は飲んだり食べたりしないでください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝より絶飲・絶食です</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>消化器の医師がお腹の診察をします</li> <li>その後お昼から水分を注入します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝昼水分を注入します</li> <li>昼から食事が開始になります</li> </ul>	・お腹の状態をみながら注入の量が増えていきます						
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャワー浴又は身体を拭きます</li> <li>お臍の掃除をします</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身体を拭きます</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を拭きます</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を拭きます</li> </ul> 	・抜糸後、許可があれば入浴ができます					
検温		<ul style="list-style-type: none"> <li>胃瘻造設後、30分、1時間、2時間、その後は翌朝まで2時間ごとに観察をします</li> </ul>									
患者様への説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>主治医が手術の説明をします</li> <li>看護師が手術に必要な事を説明します</li> <li>腹帯を準備してください</li> <li>薬の確認をします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御家族の方は院内でお待ちください</li> <li>手術後は挿入した管が抜けないう、つなぎの服を着用します。場合によっては手袋をしていただくこともあります。ご了解ください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経管食注入開始より、チューブ内に酢水を通します（汚れやつまりを予防するためです）</li> <li><b>お酢をご用意ください</b></li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>介護が必要な方は、今後の生活についてご相談させていただきます</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師が退院後の生活について説明します</li> <li>退院療養計画書をお渡しします。署名の上お出してください</li> </ul> 		
説明者											

※状態に応じて予定が異なる事も有ります。何か質問があれば看護師にお聞きください

主治医 ( ) 看護師 ( )

2020.4.23☆



## 終了時の指導

胃瘻は外から引っ張ることで、簡単に抜けてしまいます。  
流動食を接続する時やはずす時、着替えの時など引っ張らないように注意してください。  
もし胃瘻が抜けてしまったら直ぐに受診してください。

胃瘻の交換の目安は半年から一年程です。  
(胃瘻 交換は胃カメラをせずにできます。)  
予約はいりませんので消化器外来を受診してください。

下痢、嘔吐の可能性が有りますので最初の内は一時間に 100ml 以上  
注入しないでください。  
薬も一気に注入せずゆっくり入れてください。

注入中はベッドを 45° 程起こすか、座位にしてください。  
(流動食の逆流防止のためです)

その他『胃瘻を受けられた患者様へ』『胃瘻ケアガイド』のパンフレットを  
ご参照ください。

\_\_\_\_\_様の使用されているカテーテルは以下の通りです。

カテーテルの会社名 (            ) 種類 (            ) Fr (            )